

ブロモクリプチンメシル酸塩 2.87mg 錠

溶出性 〈6.01〉 本品 1 個をとり、試験液に pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 900mL を用い、パドル法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 15 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 4mL を正確に量り、0.2mol/L 塩酸試液 4mL を正確に加え、試料溶液とする。別に、ブロモクリプチンメシル酸塩標準品（別途、減圧、0.67kPa 以下、80℃で 5 時間乾燥し、その減量 〈2.41〉を測定しておく）約 16mg を精密に量り、0.2mol/L 塩酸試液に溶かして正確に 200mL とする。この液 4mL を正確に量り、0.2mol/L 塩酸試液を加えて正確に 100mL とする。この液 10mL を正確に量り、pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 10mL を正確に加え、標準溶液とする。試料溶液、標準溶液及び pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液/0.2mol/L 塩酸試液混液（1：1）につき、蛍光光度法 〈2.22〉により試験を行い、励起の波長 302nm、蛍光の波長 422nm における蛍光強度 F_T 、 F_S 及び F_B を測定する。

本品の 15 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする。

ブロモクリプチンメシル酸塩($C_{32}H_{40}BrN_5O_5 \cdot CH_4O_3S$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \{(F_T - F_B) / (F_S - F_B)\} \times (1 / C) \times 18$$

W_S : 乾燥物に換算したブロモクリプチンメシル酸塩標準品の秤取量(mg)

C : 1 錠中のブロモクリプチンメシル酸塩($C_{32}H_{40}BrN_5O_5 \cdot CH_4O_3S$)の表示量(mg)

ブロモクリプチンメシル酸塩標準品 ブロモクリプチンメシル酸塩（日局）。